

# 施設整備基本計画 (変更)

令和5年12月

行田羽生資源環境組合

① かん類処理ライン

かん類処理ラインは表 2-9 のとおり 1.2t/日です。

表 2-9 かん類処理ラインの規模

項目	数値	備考
①計画年間処理量 t/年	297	表 2-7 より
②計画年間日平均処理量 t/日	0.81	=①/365
③稼働率	0.805	=294/365 (日稼働日祝日・年末年始4日 休みで年間294日稼働)
④計画最大月変動係数	1.15	実績がないため標準的な係数
⑤施設整備規模 t/日	1.2	=②/③×④=1.16 (小数第2位切上げ)

② ペットボトル処理ライン

ペットボトル処理ラインは表 2-10 のとおり 2.2t/日です。

表 2-10 ペットボトル処理ライン規模

項目	数値	備考
①計画年間処理量 t/年	513	表 2-7 より
②計画年間日平均処理量 t/日	1.41	=①/365
③稼働率	0.805	=294/365 (日稼働日祝日・年末年始4日 休みで年間294日稼働)
④計画最大月変動係数	1.21	羽生市における過去5年間の実績平均
⑤施設整備規模 t/日	2.2	=②/③×④=2.12 (小数第2位切上げ)

③ 剪定枝資源化施設

剪定枝資源化施設は、施設の性質上は有機性廃棄物資源化施設の一つであり、施設整備規模の算出式は、し尿処理施設等に準じて以下のとおりです。剪定枝資源化施設の規模は表 2-11 のとおり 5 t/日です。

$$\text{施設整備規模} = \text{計画年間日平均処理量} \times \text{計画最大月変動係数}$$

表 2-11 剪定枝資源化施設（破碎処理ライン）の規模

項目	数値	備考
① 計画年間処理量 t/年	1,573	表 2-7 より
うち、たい肥化处理※ t/年	1,180	=①×3/4
② 計画年間日平均処理量 t/日	4.31	=①/365
③ 計画最大月変動係数	1.15	実績がないため標準的な係数
④ 施設整備規模 t/日	5	=②×③=4.96（小数点以下切上げ）

※剪定枝は、たい肥（土壌改良剤）及びチップとして搬出します。なお、剪定枝資源化施設の計画年間処理量（1,573 t/年）のうち、1,180 t/年以上を堆肥化するものとします。

（3）ストックヤード

ストックヤードとして、びん類、紙布類等のストックヤードを整備します。資源物は、1週間分をまとめて搬出できる貯留量を条件として計画します。ストックヤードの対象品目と算出根拠は表 2-12 のとおりです。面積は合計で約 550 m<sup>2</sup>です。

可燃系資源物ストックヤード（屋根、シャッター付き）	約 410 m <sup>2</sup>
不燃系資源物ストックヤード（屋根付き）	約 140 m <sup>2</sup>